



## 2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年8月4日

上場会社名 フォーススタートアップス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7089 URL <https://forstartups.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 志水 雄一郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼コーポレート本部長 (氏名) 菊池 烈 TEL 03-6893-0650  
 四半期報告書提出予定日 2022年8月4日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有（当社HPに掲載）  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

#### （1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	709	-	189	-	189	-	133	-
2022年3月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）包括利益 2023年3月期第1四半期 128百万円（-%） 2022年3月期第1四半期 -1百万円（-%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	37.77	36.72
2022年3月期第1四半期	-	-

（注）2022年3月期第2四半期より四半期連結財務諸表を作成しているため、2022年3月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	2,401	1,834	69.5
2022年3月期	2,564	1,698	59.7

（参考）自己資本 2023年3月期第1四半期 1,668百万円 2022年3月期 1,530百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年3月期	-	-	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,800	19.2	570	△5.4	570	△6.0	400	△13.3	113.36

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	3,546,800株	2022年3月期	3,528,800株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	75株	2022年3月期	75株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	3,543,955株	2022年3月期1Q	3,416,263株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、「添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、当社は、2022年8月23日に決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、「(共に)進化の中心へ」をミッションに、「for Startups」をビジョンに掲げ、成長産業支援として「タレントエージェンシー」、「オープンイノベーション」の2つのサービスのほか、「タレントエージェンシー」とのシナジーを創出し、当社グループが定義する成長産業支援をより強固なものとするため、「ベンチャーキャピタル事業」を行っております。

我が国においては、政府の成長戦略において、産業競争力強化の観点からスタートアップ企業の支援及びスタートアップエコシステム強化の重要性が提唱されており、2022年6月7日に公表された「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画」においても、スタートアップの育成が日本経済のダイナミズムと成長を促し、社会的課題を解決する鍵であるとして、スタートアップ育成5か年計画の策定を2022年末までに行うことが発表されております。また、2022年3月15日に提言された経団連の「スタートアップ躍進ビジョン～10X10Xを目指して～」において、5年後までに起業数10倍、ユニコーン企業数100社・デカコーン企業数2社以上が成長目標に据えられるなど、官民を挙げた取り組みが実行されつつあります。一方で、金融資本市場の変動に端を発する世界的な株価低迷により、グローバル市場におけるIPO件数及び資金調達金額が前年比で減少しております。我が国においては、大型資金調達事例や大型ファンドの設立などが確認されたものの、2022年上半年(1月～6月)の資金調達額が前年同期比で約2,000億円減少(約6,500億円→約4,500億円 STARTUP DB 2022年上半年 国内スタートアップ投資動向レポートより)するなど、不透明な状況が続いております。

当社グループは、当社グループが成長性が高いと考えるスタートアップ企業(以下、有力スタートアップ企業)に対して優先的にサービスを提供しております。有力スタートアップ企業は、資金調達力や採用ニーズも相対的に高いことから、当第1四半期連結累計期間における引き合いは堅調に推移しております。

各セグメント及びサービス別の経営環境及び経営成績は次のとおりであります。

#### (タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業)

##### ・タレントエージェンシー

タレントエージェンシーサービスは、スタートアップ・成長企業向けに人材紹介を中心とした人材支援サービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、マクロ環境の不透明さを背景に、一部のスタートアップ企業において採用ニーズの減少が確認されましたが、採用ニーズが相対的に強い有力スタートアップ企業や経営幹部・エンジニアなどの需要の高いポジションの支援強化により人材紹介サービスは堅調に推移しました。特に、年収レンジ及び紹介料率の上昇により紹介売上単価は過去最高値となりました。

また、採用ニーズの高いクライアントの採用活動をより強力に支援する採用支援サービスの営業強化が功を奏した結果、採用支援サービス売上高も高水準で推移し、当第1四半期連結累計期間における受注高は650,121千円となり、売上高は685,053千円となりました。

##### ・オープンイノベーション

オープンイノベーションサービスは、当社グループが運営するデータベース「STARTUP DB」を活用し、大手企業や官公庁・自治体とスタートアップ企業の連携を促進するサービスを提供しております。当第1四半期連結累計期間においては、「Public Affairs(※)」や大企業向けのデータ販売が堅調に推移した結果、受注高は136,151千円となり、売上高は24,098千円となりました。

※ 産学官の連携を主体的に推進し、スタートアップ関連の事業を受託する当社グループのサービス

以上の結果、セグメント売上高は709,152千円、セグメント利益は190,366千円となりました。

#### (ベンチャーキャピタル事業)

当第1四半期連結累計期間においても、前連結会計年度に引き続き管理費用のみが発生していることから、セグメント損失は1,270千円となりました。

なお、当セグメントには、子会社であるフォースタートアップスキャピタル合同会社、及び同社を通じて組成したフォースタートアップス1号投資事業有限責任組合が含まれております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は709,152千円、営業利益は189,095千円、経常利益は189,123千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は133,856千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)	対前期増減
資産(※1)	2,564,738	2,401,203	△163,534
負債(※2)	866,314	566,654	△299,660
(うち、有利子負債)	183,338	154,172	△29,166
純資産(※3)	1,698,423	1,834,548	136,125

主な増減の内容

- (※1) 現金及び預金(△98,590千円)、売掛金(△54,979千円)
- (※2) 未払金(△143,123千円)、未払法人税等(△126,645千円)
- (※3) 利益剰余金(133,856千円)

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。なお、2023年3月期の連結業績予想に与える新型コロナウイルス感染症の影響は、軽微であると考えております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,717,761	1,619,171
売掛金	272,034	217,054
営業投資有価証券	154,685	154,685
その他	22,816	31,559
流動資産合計	2,167,298	2,022,470
固定資産		
有形固定資産	131,656	132,466
無形固定資産	2,879	2,357
投資その他の資産	262,904	243,909
固定資産合計	397,440	378,733
資産合計	2,564,738	2,401,203
<b>負債の部</b>		
流動負債		
未払金	291,234	148,111
1年内返済予定の長期借入金	116,664	116,672
未払法人税等	178,098	51,453
未払消費税等	78,456	50,953
賞与引当金	58,338	32,964
その他	76,848	129,000
流動負債合計	799,640	529,154
固定負債		
長期借入金	66,674	37,500
固定負債合計	66,674	37,500
負債合計	866,314	566,654
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	224,331	226,446
資本剰余金	224,331	226,446
利益剰余金	1,082,233	1,216,089
自己株式	△286	△286
株主資本合計	1,530,609	1,668,695
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18	77
その他の包括利益累計額合計	18	77
新株予約権	2,332	6,090
非支配株主持分	165,463	159,685
純資産合計	1,698,423	1,834,548
負債純資産合計	2,564,738	2,401,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	709,152
売上原価	97,324
売上総利益	611,827
販売費及び一般管理費	422,732
営業利益	189,095
営業外収益	
雑収入	613
営業外収益合計	613
営業外費用	
支払利息	236
投資事業組合運用損	349
営業外費用合計	585
経常利益	189,123
税金等調整前四半期純利益	189,123
法人税、住民税及び事業税	46,967
法人税等調整額	14,076
法人税等合計	61,044
四半期純利益	128,078
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,777
親会社株主に帰属する四半期純利益	133,856

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	128,078
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	59
その他の包括利益合計	59
四半期包括利益	128,137
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	133,915
非支配株主に係る四半期包括利益	△5,777

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定及び会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては、将来において当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			四半期連結 損益計算書 計上額
	タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業	ベンチャーキャピタル事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	709,152	—	709,152	709,152
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	709,152	—	709,152	709,152
セグメント利益又は損失(△)	190,366	△1,270	189,095	189,095

(注) 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。